

「バイオサイコソーシャルに根差した包括的な遠隔共同育児の実践」へ のご協力をお願い

この文書は「バイオサイコソーシャルに根差した包括的な遠隔共同育児の実践」の内容について説明したものです。この研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。もし、ご不明な点などがありましたらどうぞ遠慮なく担当者（連絡先下記）にお尋ねください。

1. この研究の概要

研究課題

バイオサイコソーシャルに根差した包括的な遠隔共同育児の実践

研究責任者・代表者 氏名・所属・職名

・石橋美香子・江戸川大学社会学部・講師

研究従事者氏名・所属・職名・（主たる役割）

・石橋美香子・江戸川大学社会学部・講師（江戸川大学での参加者募集作業やデータ収集、論文執筆を含む成果報告）

・阿部香澄・明治学院大学・准教授（データの解析、論文執筆を含む成果報告）

・粕谷美里・明治学院大学・助教（データの解析、論文執筆を含む成果報告）

研究目的

お子様の健やかな育ちを支えるためには、信頼できる相手と情緒性の高い交流を形成することと豊かな「遊びと体験」が不可欠であり、安心と挑戦の循環を通してお子様のウェルビーイングを高めることが極めて重要です。しかしながら、情緒面でのサポートが必要とされる状況下における養育者の方とお子様の生理的身体的変化についての効果検証は非常に少ない現状です。

私たちは、次に説明するロボット「ChiCaRo」を用いて、お子様の遊び相手などの育児サポートを行うことで、養育者の方の育児ストレス軽減やお子様自身のポジティブな感情を誘発するかどうかを調べたいと思っています。

私たちは、発達心理学の分野で広く用いられている実験の方法を本研究に応用し、ChiCaRoの介入の効果を実証的に明らかにしたいと考えています。

研究方法 ※内容が変更になる可能性があります。

用いるロボット テレプレゼンスロボット「ChiCaRo」を使用します。「ChiCaRo」は、国立大学法人電気通信大学人工知能 先端研究センターの阿部香澄氏（現：明治学院大学准教授）および長井隆行特任教授らが発明し、製品化したロボットです（図1：特願 2016-053021;特願 2016-23762;特願 2016-225250）。



図1. ChiCaRo

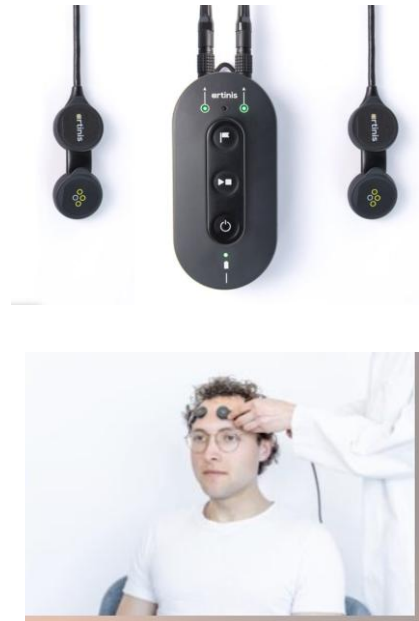
ChiCaRo は、タッチパネル式タブレット PC により ChiCaRo を操作したうえで、ビデオチャットや移動ができる、テレプレゼンスロボットです。ChiCaRo を介してモニター越しに実在する人が子育てを行うところが特徴です。また、ChiCaRo は、1, 2 歳頃の低月齢の子どもとの遠隔コミュニケーションに特化しており、安全性やデザイン性の高さは、多方面で評価されています。

参考) 阿部 香澄 (2024) 子育ての”みかた”をふやす ChiCaRo 日本感性工学会 第 12 回かわいい感性デザイン賞 最優秀賞を受賞

実験前の準備 実験室に入室直後、お子様が ChiCaRo に慣れる時間を十分にとります。緊張が十分にほぐれたと判断出来たら、調査を開始させていただきます。

また、お子様の動きに対する動線解析をするため、定点カメラの設置ならびにお子様の頭部ないしは腹部に小型のカメラを付けさせてください。お子様の頭部ないし腹部への設置が難しい場合は無しでも問題ありません。

また、お子様と養育者の方の額に、脳の血流の程度を計測できる装置をつけさせていただきます(右上写真:装着していただく機械, 右下:装着イメージ)。この装置は、「近赤外線」という体に安全な光(太陽の光やリモコンなどにも含まれている光です)を使って、脳の中でどのくらい酸素が使われているかを測る技術です。これは脳が、活動する際に酸素をたくさん使うという性質を利用しています。医療機関や乳幼児研究など、さまざまな分野で広く使われている安心で安全な方法です。装着が難しい場合は、無しでも問題ありません。



具体的な実験内容 親子の関わりの程度を検討するために発達心理学の分野で伝統的に使われている、養育者と子どもの情緒的反応性を調べるための「スティルフェイスパラダイム」をもとに、調査を行います。

1. 養育者の方は気分を測る質問紙に回答してください。
2. 養育者の方とお子様は、家庭で遊んでいる時と同じようにおもちゃなどを使って自由に遊んでください(2 分間)。

※タイミング等の時間の合図はこちらで行います。

3. 養育者の方は「無表情、無反応」になってください。お子様がどんなにかかわりを持とうとしても、出来る限り、反応はせず、顔も前を向いた状態でお願いします(1 分間)。この時に、ChiCaRo がお子様に話しかけたりして、お子様とかかわりを持ちます。割り当てられた条件によっては、ChiCaRo 不在の場合もあります。

※この手続きにより、お子様や養育者の心理的な負担感を生じさせる可能性があるため、ご無理のない範囲で問題ありません。実施にあたりご心配なことがあれば、遠慮なくお申しつけください。実施中はお子様の様子を注意深く観察し、少しでも違和感があれば、すぐに中断させていただきます。あるいは、養育者の方から中断の申し出をしていただいて全く問題ありません。

4. 1. と同様に、おもちゃなどを使って自由に遊んでください(2 分間)。
5. 養育者の方は気分を測る質問紙に回答してください。

- ・部屋に設置したビデオカメラで様子を撮影します。
- ・お子さまに通常と異なる反応がみられた場合にはデータ収集は打ち切りとします。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

- ・この研究にご協力いただくかどうかは、あなたの自由意思に委ねられています。一旦ご同意いただいた後で、もし同意を撤回される場合は、同意撤回書に署名し下記の連絡先までにご提出ください。なお、研究にご協力いただけないことで、あなたの不利益に繋がることは一切ありません。
- ・同意されない場合・同意を撤回された場合には、そこまでの調査で得られた情報は破棄します。また、解析には使用しません。ただし、以下の場合には同意を撤回しても情報を破棄することができませんのでご理解ください。
- ・すでにデータ解析が行われ、学会や学術雑誌で発表が行われている場合、その後の研究にはデータを使用しませんが、発表済みのものについてはデータ保管の必要性から破棄することができません。

3. 個人情報の保護

お子さまの顔が映った映像は秘匿回線を通じてクラウドシステムに保存します。研究プロジェクト関係者以外はアクセス不可となり、第三者が映像を閲覧することはできません。

4. 研究成果の発表

研究の成果は、氏名など個人が特定できないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で発表します。

研究に参加している時に撮影・収集したお子さまの顔が映った動画・写真・視線のデータについては、保護者の方の同意を得た上で、学術的な目的で学会発表および学術論文、書籍にて掲載・公開する可能性があります。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究の成果が、子育て世帯に子育ての負担感低減の方法の一つを提案でき、孤立しがちな子育て世帯に対して、地域社会ネットワークの構築に寄与することが期待されます。

調査はお子様の安全への配慮を第一に、細心の注意を払って行われますが、疲れたり、嫌がったりする様子が見られたら直ちに調査を中止いたします。

6. 情報の取扱方針

研究期間終了後、映像データは HD ディスクに転記の上、クラウドに存在する情報は削除し、ディスクは江戸川大学石橋研究室内の鍵のかかるキャビネット内で保存しますが、2036 年までに廃棄します。

7. その他

江戸川大学の倫理規定に則って実施するものです。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。1 回の調査につき、謝礼として 2000 円をお支払いさせていただきます。

連絡先

研究責任者・担当者 石橋美香子・江戸川大学社会学部・講師
〒270-0132 千葉県流山市駒木 4 7 4
Email : mishibas@edogawa-u.ac.jp
Tel : 04-7152-9745 (研究室直通)
Website : <https://devishibashi.wixsite.com/ishibashi-uni>